

令和3年度 授業改善推進プラン 教科名（保健体育）

<p>学習状況と 課題分析</p>	<p>本校の生徒は概ね、与えられた課題に対して積極的に取り組もうとする関心・意欲が高く、授業に対する取組もまじめである。男女とも筋力やスピード能力が低い傾向にある。さらには、生徒相互間のコミュニケーションの能力が年々低下の傾向にあり、生徒同士で助言し合う場面を意図的に用意することや、自分自身のイメージと実際の動きに差があることも認識させることも大切である。今年度は、ICT 機器を利用し、自分や他者の動きを可視化し、グループごとに課題解決に役立てる学習を推進する。仲間と関わり合いながら、生涯にわたり運動に親しむ習慣を身に付ける指導方法を工夫する必要がある。</p>								
<p>授業改善に向けての取組</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="256 555 408 1630"> <p>基礎基本の充実</p> </td> <td data-bbox="408 555 1461 1630"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力の向上・補充を目的とした、補助運動（特にスピードや筋力を高める運動）を授業の中に計画的に取り入れる。 ○ 3年間の心身の発達を見通し、発達段階に沿って単元計画を立てる。 ① 1年生では、基礎基本の定着を図るために、課題を設定し、教師主導で取り組み、基本的な技能を習得させる。（←習得） ② 2年生では、課題を設定するとともに、自ら課題を見付け、学習活動に生かせるような授業を計画する。（←活用） ③ 3年生では、課題解決学習を目指し、自主的に練習や課題、ゲームに取り組めるような授業を計画する。（←探究） ○ それぞれの発達段階に応じた学習カードを作成する。 ○ 視聴覚機器（DVDやビデオカメラ）などを活用して技能のポイント・練習段階などについて視覚的にイメージをもたせ、実際の自分自身の運動と比較・関連付けをする。ビデオの時間差再生機器やスロー再生などの活用によって各々のフォームチェックなどに役立てる。 ○ 「学び方」の基礎基本の定着を図る。 ① 学習の見通しをもたせるために、各単元において学習カードを利用し、オリエンテーションの充実を図る。 ② 自己評価や相互評価活動を行い、生徒のつまずきを見付けると同時に、次の課題を設定できるように工夫する。 ③ 生徒の関心や意欲を十分に引き出すために、場の設定（学習環境や用具等の準備）の充実に努める。 ④ 生徒相互が協力して、技能の習得や活用、探求を進めるために、学習活動の中で、「確認する」「助言しあう」「励ます」「意見をまとめる」「話し合う」などの言語活動を積極的に取り入れる。 ○ オリンピック・パラリンピックについての知識を深める。 <p>※以上の点を、けがや感染症対策に細心の注意をはらいながら年間を通して行っていく。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 1630 408 1756"> <p>主体的・体験的な学習</p> </td> <td data-bbox="408 1630 1461 1756"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決型の授業や種目選択の幅を広げる。 ○ 保健分野については、調べ学習やまとめの発表および実技など体験的な学習活動を工夫する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 1756 408 1917"> <p>個に応じた指導</p> </td> <td data-bbox="408 1756 1461 1917"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の能力に応じて、練習課題や目標の設定が的確にできるような授業を組み立てる。生徒一人一人が、「達成感」を味わえるような指導を行う。 ○ フォームチェックテスト実施後に、個別にフィードバックを行い、生徒のスキルアップに役立てる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 1917 408 2033"> <p>評価について</p> </td> <td data-bbox="408 1917 1461 2033"> <p>評価項目が偏らないように、3観点の評価項目と評価基準をより明確にし、事前に提示する。生徒がより具体的に目標がもてるように、助言しながら評価活動を行う。</p> </td> </tr> </table>	<p>基礎基本の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力の向上・補充を目的とした、補助運動（特にスピードや筋力を高める運動）を授業の中に計画的に取り入れる。 ○ 3年間の心身の発達を見通し、発達段階に沿って単元計画を立てる。 ① 1年生では、基礎基本の定着を図るために、課題を設定し、教師主導で取り組み、基本的な技能を習得させる。（←習得） ② 2年生では、課題を設定するとともに、自ら課題を見付け、学習活動に生かせるような授業を計画する。（←活用） ③ 3年生では、課題解決学習を目指し、自主的に練習や課題、ゲームに取り組めるような授業を計画する。（←探究） ○ それぞれの発達段階に応じた学習カードを作成する。 ○ 視聴覚機器（DVDやビデオカメラ）などを活用して技能のポイント・練習段階などについて視覚的にイメージをもたせ、実際の自分自身の運動と比較・関連付けをする。ビデオの時間差再生機器やスロー再生などの活用によって各々のフォームチェックなどに役立てる。 ○ 「学び方」の基礎基本の定着を図る。 ① 学習の見通しをもたせるために、各単元において学習カードを利用し、オリエンテーションの充実を図る。 ② 自己評価や相互評価活動を行い、生徒のつまずきを見付けると同時に、次の課題を設定できるように工夫する。 ③ 生徒の関心や意欲を十分に引き出すために、場の設定（学習環境や用具等の準備）の充実に努める。 ④ 生徒相互が協力して、技能の習得や活用、探求を進めるために、学習活動の中で、「確認する」「助言しあう」「励ます」「意見をまとめる」「話し合う」などの言語活動を積極的に取り入れる。 ○ オリンピック・パラリンピックについての知識を深める。 <p>※以上の点を、けがや感染症対策に細心の注意をはらいながら年間を通して行っていく。</p>	<p>主体的・体験的な学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決型の授業や種目選択の幅を広げる。 ○ 保健分野については、調べ学習やまとめの発表および実技など体験的な学習活動を工夫する。 	<p>個に応じた指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の能力に応じて、練習課題や目標の設定が的確にできるような授業を組み立てる。生徒一人一人が、「達成感」を味わえるような指導を行う。 ○ フォームチェックテスト実施後に、個別にフィードバックを行い、生徒のスキルアップに役立てる。 	<p>評価について</p>	<p>評価項目が偏らないように、3観点の評価項目と評価基準をより明確にし、事前に提示する。生徒がより具体的に目標がもてるように、助言しながら評価活動を行う。</p>
<p>基礎基本の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力の向上・補充を目的とした、補助運動（特にスピードや筋力を高める運動）を授業の中に計画的に取り入れる。 ○ 3年間の心身の発達を見通し、発達段階に沿って単元計画を立てる。 ① 1年生では、基礎基本の定着を図るために、課題を設定し、教師主導で取り組み、基本的な技能を習得させる。（←習得） ② 2年生では、課題を設定するとともに、自ら課題を見付け、学習活動に生かせるような授業を計画する。（←活用） ③ 3年生では、課題解決学習を目指し、自主的に練習や課題、ゲームに取り組めるような授業を計画する。（←探究） ○ それぞれの発達段階に応じた学習カードを作成する。 ○ 視聴覚機器（DVDやビデオカメラ）などを活用して技能のポイント・練習段階などについて視覚的にイメージをもたせ、実際の自分自身の運動と比較・関連付けをする。ビデオの時間差再生機器やスロー再生などの活用によって各々のフォームチェックなどに役立てる。 ○ 「学び方」の基礎基本の定着を図る。 ① 学習の見通しをもたせるために、各単元において学習カードを利用し、オリエンテーションの充実を図る。 ② 自己評価や相互評価活動を行い、生徒のつまずきを見付けると同時に、次の課題を設定できるように工夫する。 ③ 生徒の関心や意欲を十分に引き出すために、場の設定（学習環境や用具等の準備）の充実に努める。 ④ 生徒相互が協力して、技能の習得や活用、探求を進めるために、学習活動の中で、「確認する」「助言しあう」「励ます」「意見をまとめる」「話し合う」などの言語活動を積極的に取り入れる。 ○ オリンピック・パラリンピックについての知識を深める。 <p>※以上の点を、けがや感染症対策に細心の注意をはらいながら年間を通して行っていく。</p>								
<p>主体的・体験的な学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決型の授業や種目選択の幅を広げる。 ○ 保健分野については、調べ学習やまとめの発表および実技など体験的な学習活動を工夫する。 								
<p>個に応じた指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の能力に応じて、練習課題や目標の設定が的確にできるような授業を組み立てる。生徒一人一人が、「達成感」を味わえるような指導を行う。 ○ フォームチェックテスト実施後に、個別にフィードバックを行い、生徒のスキルアップに役立てる。 								
<p>評価について</p>	<p>評価項目が偏らないように、3観点の評価項目と評価基準をより明確にし、事前に提示する。生徒がより具体的に目標がもてるように、助言しながら評価活動を行う。</p>								